

第45回鹿児島陶芸展

会 期 平成29年4月7日（金）から16日（日）まで ※10日は休館
会 場 鹿児島県歴史資料センター黎明館
主 催 鹿児島県・南日本新聞社
特別協賛 本坊酒造

鹿児島陶芸展は1973（昭和48）年、底辺の広がりが顕著な郷土の陶芸界でより一層の新進の輩出を促すとともに、歴史を踏まえた新たな鹿児島陶芸のレベルアップを図ろう—と創設されました。毎年、若い世代から高齢者まで、伝統的な手法を生かした創造性豊かな作品、生活に密着した作品が多数寄せられています。

審 査

審 査 員 金子賢治氏（茨城県陶芸美術館長）
（五十音順） 深見陶治氏（陶芸家）
入選発表 平成29年4月3日（月）付 南日本新聞（予定）

表 彰

表 彰 式 平成29年4月14日（金）午後2時から 南日本新聞会館5階会議室（予定）
表 彰 ・ 鹿児島県知事賞（副賞金10万円）
※創作・テーマ両部門の出品作品を対象とする
・ 【創 作 部 門】 南日本新聞社賞（副賞金5万円）
優秀賞3点、特選、入選
・ 【テーマ部門】 あらわざ賞・優秀賞（副賞金3万円、焼酎「あらわざ桜島」）3点、
特選7点、入選
・ 【招 待 者】 招待者特別賞（副賞金5万円）

実施要項

- 作品搬入 平成29年3月31日(金)、4月1日(土) 午前9時30分から午後4時まで
鹿児島県歴史資料センター黎明館 搬入口
- 作品搬出 選外作品=4月3日(月) 午前9時30分から午後4時まで
入選作品=4月17日(月) 正午から午後4時まで
- 出品料 1部門につき 1点=4,000円 2点目から=3,000円
大学生・専門学校生以下は1点2,000円(搬入時に学生証を提示)(いずれも税込み)
※部門ごとの複数出品と学生・生徒には割引制度があります。
両部門に1点ずつ出品する場合の割引はありません
※出品者1人に対して会期中何度でも入場できる「優待証」を発行。
また、出品1点につき「招待券」を1枚進呈

創作部門

- 公募対象 鹿児島県内の在住者または出身者でこの陶芸展のため制作した創作品
- 作品内容 造形性を追求した作品
- 作品規格 特に制限なし

テーマ部門

- 公募対象 鹿児島県内の在住者または出身者でこの陶芸展のため制作した創作品。また、窯元やグループでの出品も可
- 作品内容 和洋の酒器(焼酎、ワイン、洋酒、麦酒などを楽しむ器)
日々の生活を彩る酒肴器(酒の肴を楽しみ、味わうための皿や鉢などの器)
- 作品規格 幅70cm以内、奥行き40cm以内、高さ25cm以内のスペースに展示できるもの
(セットは10個以内)

<注意>

- ①創作、テーマ両部門とも運搬、展示に支障ある大きさ、状態のものは受け付けない
 - ②受け付けた作品の管理には主催者で十分注意するが、やむをえず生じた事故・災害による損害や紛失については、主催者は責任を負わない
 - ③事前に発表済みの作品など主催者が不適当と判断した場合は、入賞入選決定後であっても賞を取り消すことがある
 - ④テーマ部門の入賞入選で販売を希望する作品は、「出品者の連絡先」などを会場で公表するので、申込書の「販売希望者の連絡先」に必ずご記入すること。なお、販売は出品者と購入希望者の直接取引とする
 - ⑤テーマ部門の入賞作品は巡回展に展示するため返却が遅れることがある
 - ⑥本展覧会の広報、解説や紹介のための作品の撮影および印刷物に対する著作権は主催者に帰属する
 - ⑦本出品規定に記載されていない事項について問題が生じた場合は、主催者の指示に従うこと
- ※出品申込書にご記入いただいた個人情報は、本展の開催・運営にのみ使用いたします。

問い合わせ先

〒890-8603 鹿児島市与次郎1-9-33
南日本新聞社 事業部「鹿児島陶芸展」係
TEL099 (813) 5053 FAX099 (813) 5087